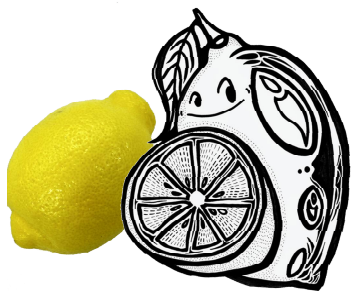


八百屋塾通信 Vol.29

八百屋塾ホームページをごらんください
▼「八百屋へ行こう」で検索
<http://www.shoukumi.or.jp/index.htm>



●檸檬 梶井基次郎

「えたいの知れない不吉な塊」に
押さえつけられている私の心は、
檸檬に慰められ、洋書店を檸檬の
爆弾で大爆発させたらどんなにお
もしろいだろう、と空想する。

●レモン哀歌 高村光太郎

心を病んだ妻智恵子が息を引き
取る瞬間を歌った詩。レモンの香
りは、智恵子の心を洗い、光太郎
へとつなげた。



●枇杷の少女 加能作次郎

私と同じ年のお絹さんの家には大
きな枇杷の木があり、その金色の
実はお絹さんの気持ちを私に届け
てくれた。枇杷の実を見るたびに
美しいお絹さんと初恋を思い出す。

●枇杷の花 永井荷風

枇杷の花は純白ではない。目立た
ない、見栄えのしない花である。そ
の花を見て、わたくしはいかに世
の中が変転したかを思い、ただた
いずらに老い朽ちていくのである。

近代文学にみる

名前が入ったタイトルの

果物の小説・詩

昔話で
すぐ思いつくのは
「桃太郎」

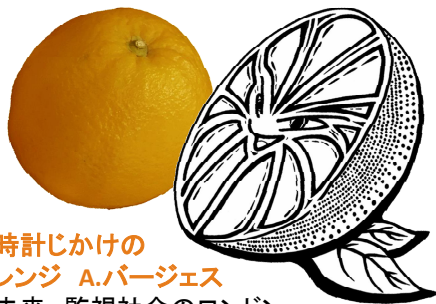


●葡萄水 宮沢賢治

耕平がおかみさんと密造した
野葡萄の酒の瓶は、すべて
はじけた。ユーモアを交えて
描かれるのは、農村の貧しさ
と思い通りにならない現実。

●一房の葡萄 有島武郎

僕をゆるしてくれた級友ジム
と僕は、先生から、窓の外
の葡萄をもらおう。先生は
僕の初恋の人、葡萄
はゆるしの象徴。



●時計じかけの オレンジ A.パーゼス

近未来、監視社会のロンドン。
アンチモラルな少年たちの超暴力を、科
学の力で「条件づけ」ようとする政府。
「時計じかけのオレンジ」とは、中身が機
械でできている生命のこと。



●桜桃 太宰治

「子供よりも親が大事、と思
いたい」と父は呟く。桜桃の種
は子、実は親を象徴している。

●さくらんぼ畑 A.チーフ

2011年に発表された戯曲
「桜の園」の新訳。さくらんぼ
畑は過去の栄光の
甘美さを示して
いる。



●蜜柑 芥川龍之介

「不可解な、下等な、退屈な」人生に「疲労と倦
怠」を感じている私は、電車から、田舎娘が、見
送りの弟たちに「心を躍らすばかり暖かな日の色
に染まつてゐる」蜜柑を投げるのを見て、「得体
の知れない朗らかな心持ち」になる。

市場の動き

<梨類> 幸水: やや小玉傾向、8月中旬ピーク。豊水: 平年並み、8月下旬~9月10日くらい。新甘泉: 肥大良い、8月下旬から9月中旬 <ぶどう類> 高温で前進出荷 ピオーネ: 山梨8月中、岡山9月。シャインマスカット: 8~10月山梨・長野。ナガノパープル: 長野8月下旬ピーク。ルビーロマン: 石川9月下旬まで出荷 <桃類> : あかつきからなつっこ~小玉傾向 <メロン類> 北海道らいでん赤肉早め・青肉9月中旬 <くり> : 小玉傾向、茨城・熊本9月ピーク <いちじく> 露地物で正品率が低い愛知・福岡(とよみつひめ) <りんご> : 長野サンつがる、シナリップ、岩手紅ロマン <その他> ハウスみかん、刀根早生柿

■ 動画コーナーをご覧ください。

実行委員長ほか取材陣が、「東京ゴールド」の取材に行ったようすなどがご覧いただけます

動画ページへは、こちらから→



■ ぶどうの情報は八百屋塾ホームページで

◇講演: 2019年9月8日 本部青年会 吉野元氏 / 2014年8月24日 橋本幾男氏 / 2013年8月18日 橋本幾男氏 / 2010年8月22日 橋本幾男氏

◇ぶどう園見学: 2011年9月18日~19日出張八百屋内町

八百屋塾ホームページへは、こちらから→

